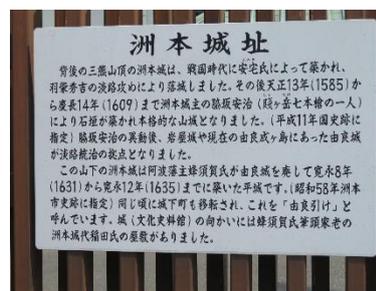


洲本城 兵庫県洲本市小路谷 972

兵庫県淡路島の南東、三熊山頂上にある洲本城(上の城)は、大永6年(1526)に淡路水軍を率いた安宅(あたぎ)氏によって築かれ、天守台からは海を見渡す事ができ戦国時代では水軍の城として栄えました。その後、天正13年(1585)に入城した脇坂安治によって今に残る総石垣の城に改修され、脇坂氏が伊予大洲に移った慶長14年(1609)事実上の廃城となりますが、その威容は、今なお保ち続けられています。壮大な総石垣、大石段、全国で数例しかない登り石垣などがあります。(説明版)



麓から見る天守

説明版



同城の石垣

隅が鈍角の石垣「しのぎ角」が多いのが特徴



南の丸隅櫓跡

しのぎ角の石垣

本丸への登城口



搦め手口

天守



登り石垣(立入り禁止区域)



池



天守から瀬戸内